

～令和5年度農林水産予算概算決定の概要～

令和4年12月23日、令和5年度農林水産関係予算（総額 2兆2,683億円）が閣議決定されました。
令和4年度農林水産関係第2次補正予算（総額 8,206億円）も令和4年12月2日に成立しています。

【総額 2兆2,683億円（2兆2,777億円）※（ ）内は令和4年度当初予算額】

1 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策

2 生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施、需要拡大の推進

- ◇ 農業の持続性の確保に向けた生産基盤の強化
- ◇ 畜産・酪農の生産基盤の強化
- ◇ 経営安定対策の着実な実施
- ◇ 国民の理解醸成と需要拡大の推進

3 2030年輸出5兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化、食品産業の強化

- ◇ 2030年輸出5兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の実施
- ◇ 知的財産の流出防止、侵害対策
- ◇ 新事業の創出と食品産業の競争力強化

4 環境負荷低減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進

5 スマート農林水産業、eMAFF等によるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ◇ スマート農林水産業の推進
- ◇ 農林水産・食品分野におけるスタートアップ創出の強化
- ◇ eMAFF等によるDXの推進

6 食の安全と消費者の信頼確保

7 農地の効率的な利用と人の確保・育成、農業農村整備

- ◇ 農地中間管理機構による集積・集約化と地域の農業を担う者による農地利用
- ◇ 多様な人材の確保・育成
- ◇ 競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備の計画的な推進

8 農山漁村の活性化

- ◇ デジタル技術により地域資源を活用した農山漁村の課題解決
- ◇ 日本型直接支払の実施 ◇ 鳥獣被害防止対策等 ◇ 中山間地域等の活性化

9 カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長

10 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化

11 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

詳細は農林水産省 HP ⇒ <https://www.maff.go.jp/j/budget/r5kettei.html>

彩の国 農業人

～届けたい 地産地消で
美味しい地元の野菜と笑顔を～
さいたま市・田島友里子さん

さいたま市で「こぼと農園」を設立し、自然栽培（無農薬・無肥料）を営んでいる田島友里子さんをご紹介します。

さいたま市の見沼たんぼで6年前に就農して「こぼと農園」を設立し、自然栽培（無農薬・無肥料）を営んでいる田島友里子さんをご紹介します。三重県の実家出身の田島さんは美術系の大学院を修了し高校の講師に就きましたが、もっと社会貢献ができる仕事がしたいとの思いと「食べ物を作って売ることこそ働く原点」との考えから、農業の魅力や可能性に惹かれ、北海道の農業研修で3年間学びました。

研修中に御主人と知り合い結婚を機に、御主人の実家があるさいたま市に移り住み、独り農業を始めるため、埼玉県農業大学校や明日の担い手塾で本格的に農業を学び、認定新規就農者となって「こぼと農園」を設立しました。

現在、借地 170 a の畑に7名（パート4名、研修生3名）で里芋や人参、ネギなど少量多品目の露地野菜を、「畑に手を加えないことで、生態系のバランスが保たれるのではないか。」との

思いから、無農薬で堆肥も入れない無肥料のあえて草取りもしない自然栽培で生産しています。また、2年前には一部の畑で有機JAS認証を取得、今後も全ての畑で取得できるよう準備をしています。

販売先は、直売所と大手スーパー、マルシェなどで販売しています。地産地消にこだわり、地元で採れた野菜を133万人いるさいたま市民のひとりでも多くの人へ、「美味しい」という幸せとともに届けたい。また、消費者と顔の見える交流を行い、理解と信頼を深めたいと考えています。

就農してから今までに、運営資金や農地、農産物の販路などの確保に苦労しましたが、一緒に学んだ仲間や見沼地区の関係者、行政に助けられ問題を解決してきました。その経験から、少しでも地域の活性化に貢献できればと、さいたま市の有機農業を盛り上げるため発足した『さいたま有機都市計画』の代表に就任し活動しています。

これからの目指す農業について聞いたところ、「4年後までに法人化すること、経営面積10haまで規模拡大したい。」また、狩猟免許も取得したので「ジビエも自給できたらうれしい。」と笑顔で話してくれました。

終始笑顔で取材に応じてくれた田島さんから、その笑顔から想像できない強い意志と農業への情熱を感じました。



田島友里子さん



ねぎ畑

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL 048-740-5835 FAX 048-601-0510

＜関東農政局HP＞ <http://www.maff.go.jp/kanto/>